

タスク	説明	✓
<b>アップグレードの準備</b>		
1.	RSA Linkから『RSANW-11.2-VirtUpgradeGde.pdf』をダウンロードして、内容を確認します。 a. 11.xでサポートされていないコンポーネントおよびサービスについて確認します。 b. 「ESA( Event Stream Analysis) のアップグレードに関する考慮事項」および「混在モードでの調査」のセクションをよく読んでください。 c. 新たに必要となったポートを確認します。	
2.	11.1でサポートされないハードウェア、導入形態、サービス、機能を確認します。	
3.	11.2でRespond Serverがアクティブになるよう、データ保存の実行間隔が24時間以上に設定されていることを確認します。	
4.	使用する機能のアップグレード準備タスクを実行します。 <b>注意: ポートが使用できないことが原因でアップグレードが失敗しないよう、新しいポートを構成し、テストしてください。</b>	
5.	バックアップのtarファイルを保存するためのCentOS 6外部ホストを作成します。	
6.	RSA Link( <a href="https://community.rsa.com/docs/DOC-81514">https://community.rsa.com/docs/DOC-81514</a> ) からnw-backup-v4.0.zipファイルをダウンロードし、外部ホストに保存します。	
7.	外部ホストからget-all-systems.shおよびssh-propagate.shを実行します。	
8.	今後の参照のために、get-all-systems-masterファイルのコピーを保存します。	
9.	外部ホストからTESTモードでnw-backup.sh を実行して、必要なディスク容量を確認します(例: nw-backup -t -l -D)。	
10.	ヘルプメニューを表示して(nw-backup.sh)、nw-backup.sh -hのバックアップオプションを確認します。	

# 物理ホスト アップグレード チェックリ スト

バージョン11.6.6.xから11.2



タスク	説明	✓
<b>ディスクドライブの移行</b>		
11.	10.6.6.x VM(仮想マシン)のデータをバックアップします。	
12.	RSA Linkから11.2 OVAをダウンロードします。	
13.	10.6.6.xと同じ仮想マシンスタックで11.2の仮想マシンを導入します。	
14.	10.6.6.xと11.2の両方の仮想マシンの電源をオフにします。	
15.	10.6.6.xのVMDKファイルをコピーし、ステップ13で導入した11.2 OVAに追加します。	
16.	アップグレードしたSA Server仮想マシンのMACアドレスを引き継ぎます。	
17.	10.6.6.xの仮想マシンをインベントリから削除します(仮想マシンをディスクから削除しないでください)。	
18.	11.2の仮想マシンの電源をオンにします。	
19.	VMDKからファイルシステムをマウントします。	
20.	10.6.6.xのバックアップデータを11.2の仮想マシンにリストアします。	
<b>フェーズ1: NW Server、Event Stream Analysis、Malware Analysis、BrokerまたはConcentratorホストのセットアップ</b>		
21.	SA、ESA、MA、およびBroker/Concentratorのバックアップデータが含まれるように、 <code>all-systems</code> の内容を更新します。	
22.	ESAホストの場合、特殊文字が含まれている場合は、Mongoデータベース管理者パスワードを「netwitness」にリセットします。	
23.	フェーズ1のすべてのホストに対して <code>-u</code> フラグを設定して <code>nw-backup.sh</code> を実行し、エラーなく完了したことを確認します。	
24.	ご使用の環境に複数のESAアプライアンスがある場合は、プライマリESA( Context Hubサービスを実行するESA)を指定し、セカンダリESAの <code>mongodb.tar.gz.*</code> ファイルをプライマリESAのデフォルトのバックアップパスにコピーします。	
25.	ローカルおよびリモートにバックアップtarファイルが保存されたことを確認します。	
26.	ホスト上で <code>nwsetup-tui</code> プログラムを実行して、10.6.6.x SA Serverホストを11.2 NW Serverホストとしてセットアップします。	
27.	NetWitness 11.2ユーザ インタフェースを使用して、ESA、Malware Analysis、BrokerまたはConcentratorサービスをインストールします。	

フェーズ2: その他すべてのホストのアップグレード [248]

# 物理ホスト アップグレード チェックリスト

バージョン11.6.6.xから11.2



タスク	説明	✓
28.	フェーズ2のホストのバックアップ データが含まれるように、all-systemsの内容を更新します。	
29.	外部ホストからTESTモードでnw-backup.sh を実行して、必要なディスク容量を確認します(例:nw-backup -t -l -D)。	
30.	フェーズ2のすべてのホストに対して-u フラグを設定してnw-backup.shを実行し、エラーなく完了したことを確認します。	
31.	ローカルおよびリモートにバックアップtarファイルが保存されたことを確認します。	
32.	各ホストでnwsetup-tuiプログラムを実行して、11.2 ホストとしてセットアップします。	
33.	NetWitness 11.2ユーザー インターフェイスを使用して、ホスト サービスをインストールします。	
<b>アップグレード後の調整の実行</b>		
34.	使用する機能に応じたアップグレード後のタスクを実行します。	

## 改訂履歴

リビジョン	日付	説明	作成者
1.0	2018年9月11日	一般リリース	IDD